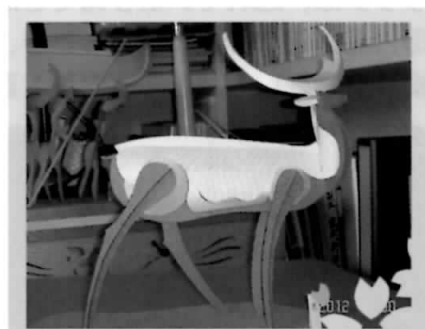


# きぼう

発行 藤野地区社会福祉協議会  
企画 藤野地区福祉のまち  
推進センター広報啓発班



## 楽しく健やかに 老いていきたい

五十嵐 勇三 さん  
(富士見町内在住)

【左】切り絵に専念する勇三さん  
【右上】妻のミツ子さんと談笑  
【右下】勇三さんの作品、紙の彫刻

私は大正15年12月、寒さ厳しい所で有名な道北の歌登で生まれました。9人兄弟の3番目、家は旅館を営んでいましたが事情があって昭和14年札幌に転居、大家族で貧しい生活でした。

私は15才から昼間は印刷屋に勤め、夜は札幌夜間中学校(旧制中学校)に通いました。昭和20年3月卒業後、札幌鉄道局に就職しましたが24年、故郷の友人の勧めで歌登町立の小さな中学校の代用教員に採用されました。無資格でしたから通信教育と講習会受講で資格を取得しました。歌登で縁があり、現在の妻と結婚し二人の娘に恵まれました。

歌登は農村ですがその後、離島利尻、稚内市など宗谷管内で1市4町7校を歴任し、61年3月に37年間の教職員生活を終えて、ここ藤野に居住しました。

その後札幌シルバー人材センターに登録、主に筆耕の仕事に従事しました。

町内会では福祉部長をはじめ、役員として6年間、青少年育成委員も10年間勤めました。

今は、町内会の老人クラブに妻と共に入会し、パークゴルフや輪投げ、日帰り旅行などで楽しんでます。

趣味は書道、油絵、紙の彫刻作りなど……。滝平二郎さんの「切り絵」に感動し3年前から切り絵を始めました。細かい部分を切り抜く時の集中力と緊張感、完成の喜び、興味は尽きません。

これからも地域の人々のお世話になりながら楽しく健やかに老いていきたいと願っている今日この頃です。

(五十嵐 勇三)

# 子どもたちが輝いています

## 十五島ふれあいサロン「ウキウキひろば」

サロン代表 枝川 宏子

十五島ふれあいサロン「ウキウキひろば」は、地域の子供達とその父母、そして高齢者が集い楽しく交流できる場を町内に作ろうと、平成23年11月に有志数名で立ち上げました。区社協のサロン助成制度に登録し、毎月第一木曜日の午前中に、十五島町内会館で開催しています。数組の親子と高齢者でにぎやかにひと時を過ごします。スタッフは、忘れていた子育てを思い出し、若いお母さん達にアドバイスをしたり、お母さん同士は情報交換をしながら子供達と遊びます。



毎回おばあちゃんが絵本を読んでくれます

当初はおもちゃを購入する資金もないなか、町内の方々がお下がりをたくさん提供して下さいました。

子供達は大喜びで終了時間になってもなかなか帰りがたがらず、本当にうれしい悲鳴です。

保健センター子育て支援係からおもちゃ等の貸し出しがあり、藤野地区社協からは助成金をいただき、充実した開催ができるようになりました。

十五島町内以外の方々も、どうぞお越し下さい。  
スタッフ一同お待ちしております。

開催日・毎月第一木曜日 10時～11時30分  
会場・十五島町内会館 藤野1条7丁目162 ☎591-0645  
問合せ先・枝川宏子 ☎591-4778

## 藤野南小ミニ児童会館

館長 庄司 元生

藤野南小学校にある「ミニ児童会館」は、放課後の藤野南小学校の子供達たちの居場所づくりのために開館しているもので、札幌市から管理委託を受けて財団法人札幌市青少年女性活動会が運営しています。藤野南小学校を含め、南区には9館の児童会館と6小学校にミニ児童会館があります。

藤野南小学校ミニ児童会館には毎日60名ほどの児童が放課後、教室から直接来館し夕方6時までの時間、読書をしたり、友達とゲームをしたり、小学校の体育館でサッカーやバスケの運動をしたりと、楽しい時間を過ごしています。

また、PTAの方々による「読み聞かせ」に参加させてもらったり、ドッジボールなどのスポーツゲームに汗をながす「スポーツファイター」、楽しい映画を鑑賞する「ミニシアター」、「工作教室」や「料理教室」…など、楽しい行事が毎月盛りだくさん計画されています。

放課後、元気に「ただいま」と会館に帰ってくる子供達を4人のスタッフが毎日迎え、スタッフも子供達たちに負けないくらい楽しい毎日を送っています。



カブラ（木の板）でタワーづくりに挑む子供達

## 福祉活動と一体で元気な

# 野々沢ひまわり会

野々沢ひまわり会々長 日野 司郎

平成5年に産声をあげた老人クラブ野々沢ひまわり会は、創立20周年を迎えることになり、今年3月に記念事業を行う準備を進めています。現在92名の会員で構成し、会員自らの暮らしと地域を豊かにする活動に楽しく取り組んでいます。

具体的には、

### 1. 例会

毎月第二火曜日が例会日です。

内容は年間計画で決めています。交通安全教室や福祉の勉強会、音楽を楽しむ会、ことば遊びなどをその月のテーマに沿った内容で行っています。

### 2. サークル活動

コスモスサロン、アートフラワー、紅花会（民舞）、福寿草（お茶）、パークゴルフ、輪投げ、カラオケ、麻雀、土筆（書道）、詩吟、会館テニスの11のサークルがあって、同じ趣味を持つ仲間が自らの暮らしが豊かになる活動を、仲良く楽しく行っています。

### 3. ボランティア活動

野々沢町内会が行うまちづくり活動に積極的に参加するように努めています。福祉活動、公園の清掃、歩道柵花壇の世話、子どもの見守り、文化祭や運動会への参加協力、歳末助け合い募金、どんぐり子ども会との交流のほか、藤野南小学校の昔遊びや花いっぱい運動への協力もあり年間を通してかなりの数の元気な会員が、地域を豊かにする活動に参加しています。



コスモスサロンの詩吟の発表

### 4. 野々沢福祉委員会

藤野地区社協は、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりのために、各町内に福祉推進委員会をつくるように要請していますが、野々沢では町内会とひまわり会で福祉委員会を組織し、日常の友愛助け合い見守りをしています。

私たちは、老人クラブの会員であることに自信と誇りをもち、創立20周年を迎えるひまわり会を会員みんなで楽しく活動し、発展させたいと思っています。



民舞を披露する紅花会の皆さん



# 今年も楽しかった福まちの行事

平成24年10月21日開催 福まちふれあい交流班主催

## ふれあい交流会



風船が天井に届きそう

藤野地区センターアリーナいっぱいに広がった笑顔と歓声、今年度のふれあい交流会は、老いも若きも参加して出演者と一体となり、盛り上がりました。



「ジャグリングクラブまめぞう札幌」の妙技に感心



ヒロさんから思いがけないプレゼント



すごいジャグリング！わたしにもできるかな



できた！皿回し

来年も楽しい企画をお届けします。  
藤野地区の皆さん、大勢参加してください。  
(ふれあい交流班)

主催：健康づくり活動班

# ふまねっとで うんどう教室

各町内会を4ブロックにまとめて開催

今年も元気に参加しました。  
毎年好評です

## 各ブロック開催日と会場

ブロック	月 日	会 場	幹事町内会
第 1	10・23	西藤野会館	西藤野
第 2	11・01	三区会館	三 区
第 3	10・18	十五島会館	十五島
第 4	11・06	藤野沢福祉会館	第 二



「転ばぬ先の杖」熱心に講話を聴いて勉強  
(西藤野会館)

毎回参加する人も、初めての人も指導者の掛け声で張り切って足踏みをします。

終了後は身も心も軽く、元気になって帰ります。

来年も楽しみですね。



どっこいしょ！お相撲さんスタイルで頑張っています  
(十五島会館)



上 ▶ ハイ、次は左足ですよ  
下 ▶ オシリアイの仲になることも  
(上下 西藤野会館)

(取材 枝川)



# 福 ま ち 研 修 会

藤野地区センター  
集会室にて

第1回 平成24年7月24日（火）開催

〈テーマ〉「地域の見守り活動のあり方」

藤野地区全町内会の福祉に携わる方々約50名の参加で「見守り活動」についてグループごとに意見を出し合い、「まとめ」を発表しました。



出し合った意見を項目ごとに貼り付けています

「どの様に訪問すると受け入れてもらえるかな。プライバシーを尊重し、相手に負担に思われないようそっと見守りましょう」

意見をまとめてグループごとの発表



「見守りをする担い手の育成は、どうしたらいいでしょう。とにかく隣近所、声をかけ合うことが大切です。民生委員と福祉委員がペアで訪問活動をしている町内もあります」



小平地域福祉課長の講評を聞く参加者

第2回 平成25年1月30日（水）開催

〈講話〉「いつまでも元気で過ごすために」

講師 医療法人溪仁会 定山溪病院  
副院長 菅原 啓 先生  
作業療法士 南部 浩志 先生

初めて藤野地区全住民を対象に、表記のテーマで講話を聴く研修をしました。

菅原先生からは特に専門の立場から、寝たきりの高齢者に多く見られる床ずれの治療や誤嚥、認知症のお話をいただきました。



菅原先生の講話を聞く参加者

南部先生からは、「体を柔らかくするためのポイント」を教わりました。

体に良い運動とは、ゆっくり、ちいさく、楽に、快適に、することだそうです。

体が柔らかくなると、リラックスできる、快眠できる、脳の活動性が増す、意欲が高まる、力が発揮し易くなる、痛みが軽減するなどいいことづくめです。元気で長生きの秘訣ですね。

約70名の参加者は元気をもらいました。

## 福祉活動実践者交流会で 福祉マップの作成について学びました

平成25年2月18日(月) 藤野地区センター

藤野地区全町内会から総勢110名の福祉に携わる方々が集まり、福祉マップで地域の見守りをするための研修をしました。

西区西町地区福祉のまち推進センターの望月弘子事務局長をお招きし、福祉マップづくりの実践と活用を語っていただきました。西町地区の高齢者等を支援するに当たり、各町内会がマップをつくり合法的に安心・安全に見守り活動を進めているそうです。

講話の後、南区社会福祉協議会の大石さんの指導でマップ作りを体験しました。

参加者は、日ごろの見守りや支援のあり方について熱心に勉強し、お互いの町内会の福祉活動の情報交換も行いました。



マップづくりを体験

札幌市は「毎月3日は、見守り・訪問の日」と設定しました。

近隣に心配される独居の方や、高齢者がおられたら、「夜、家の灯りはついたかな、新聞などが郵便受けにたまっていないだろうか」とちょっと気配りしてください。異変を感じたら民生委員や町内会の福祉部役員に知らせてください。

皆で安心できる福祉のまちづくりをしていきましょう。

## 「ばあちゃんの味がする！」

更生保護女性会藤野分区長

平川 時子さんに伺いました

南区に更生保護女性会が発足したのは、昭和52年(当時は婦人会)で、同時に藤野分区も発足したそうです。平成14年から分区長をされている平川時子さんに聞きました。

◆この会は、罪を犯した人に愛の手を差し伸べ更生を助けると共に、地域社会に奉仕することを目的とする女性団体だそうですね。何人でどのような活動をされているのでしょうか。

「藤野地区には現在、私の他に20名の会員がボランティアで活動しております」

「活動の内容は、札幌刑務支所や拘置支所で行う誕生会、少年院や女子学院の運動会などに参加して激励します。この様な行事には家族の方は殆んど参加いたしませんので、私達は親代わりのつもりで交流します。それから盆踊り大会や、刑務所矯正展(刑務中の方が制作した物品の展示販売)のお手伝いもしますよ」

「少年院や女子学院で、出院準備教育のための昼

食会が行われますが、手作りの料理を持参します。

一番うれしかったことは、我が家のつけ物を持って行った時に、『あっ、これはばあちゃんの味だ!ばあちゃんのつけ物思い出した』と言って、何度もお替りしてくれたことです。母親の味を思い出して涙を流す子もいます。そんな時、こない子がどうして罪を犯してしまったのだろうか、二度とここに足を踏み入れることのないようにと、願わずにはおられません」

◆平川さんは、いつ頃藤野に来られたのですか。

「私は、藤野で生まれ育ちました。定山溪鉄道で石山小学校に通いましたよ。ふるさと藤野が犯罪のない、そして子ども達が明るく健やかに育つようにと、会員と共に“社会を明るくする運動”に励んでいます。地域の皆様のご理解とご参加をよろしく願いいたします」

◆藤野地区を愛し、皆の幸せを願う平川さんの笑顔がステキでした。

平成24年10月23日平川宅にて  
聞き手 広報啓発班 枝川



# 困ったときの、あなたの身近な相談先

お気軽に  
ご相談ください

## 藤野地区福祉のまち推進センター（藤野福まち）

＊ 福祉なんでも相談 ＊

地域の方々の様々な困りごと、悩みごとの相談に応じ、関係機関におつなぎします。

相談日 毎週月曜日（祝日は休み） 13時～15時

場所 藤野地区社会福祉協議会事務所  
藤野 2条 8丁目 7-18

電話 ☎591-5082

電話による相談も受け付けています

## 地域包括支援センター 介護予防センター

介護保険や介護予防、認知症、虐待のことなど、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも暮らせるように様々な相談をお受けしています。

南区第二地域包括支援センター ☎572-6110

南区介護予防センター定山溪 ☎598-3311

## ＊ 民生委員・児童委員 ＊

各町内の民生委員が、担当地区の高齢者や障がいのある方、子どものことなど、幅広く地域の困りごとをみなさんと一緒に考えお手伝いします。ご自分の町内の委員が分からない場合は、町内会長または、藤野福まちにおたずねください。

## ＊ 障がい者相談支援事業所 ＊

障がいのある方やその家族の方が、身近な地域で相談できる場所です。

専門の相談員が、悩みごとや困りごとの相談をお受けするほか、福祉サービスを受けるための手助けをします。

相談室ほくほく ☎807-9746

（相談時間 火～土曜日 10：00～18：00）

## 福まち広報紙コンクールで 広報「きぼう」が今年度も受賞

毎年、札幌市社会福祉協議会の主催で行われる「福まち活動写真及び広報紙コンクール」で今年度は、広報「きぼう」16号が審査委員特別賞を、活動写真部門では佳作を受賞しました



審査員特別賞の第16号

地域の皆様の奇稿や、取材に応じて下さったことにお礼申し上げます。ありがとうございました。



佳作入賞のふれあい交流会写真



授賞式に臨む是安広報班長

## 編集後記

今冬は、大変な大雪に見舞われました。藤野では福祉除雪の対象世帯が123軒あります。地域協力員の皆さん本当にご苦勞様です。

さて、このほど藤野地区に高齢者を対象に少人数タイプのデイサービス施設がオープンしました。一般の戸建住宅を改修し、定員10名の通所介護サービスを提供する事業所です。高層建築で設備等が充実している施設も多くなっていますが、小規模で自宅とそれほど変わらない雰囲気を楽しんでもらおうという理念は、ニーズの多様性を捉えているようです。高齢化率の高い藤野にアットホームな施設が、身近な場所にできることは歓迎です。（岩崎）

## 「きぼう」 第17号

発行人 田中 義一

編集者 阿部、岩崎、枝川、是安、高橋、平間、堀田、堀、渡部（連絡先 是安 ☎591-5828）

印刷所 福島プリント（中央区南9西16）